

あなたとわたしの萬音百夜

まんおんひゃくや

主催 内山 和重

日程 令和3年12月4日～令和4年3月13日(百日間)

会場 gallery kissa 台東区浅草橋 3-25-7 4F

コロナ禍を逆手に取った聴き手と弾き手との一対一の空間で味わうコントラバス独奏による演奏会が百日間開催されました。

●一人ひとりに対して語りかけるコントラバス独奏●

この企画は、「音楽に触れることを本当に必要としている方に音楽を届けるとともに、コロナ禍におけるポストコロナを見据えた新たな音楽の在り方を創出する」をコンセプトに、コロナ禍を逆手に取り、最小のリスクで最大に音楽を味わえるよう、一人(もしくは生活を共にする一組)のお客様に向けたコントラバス独奏会です。

【演奏会概要】

演奏者:内山 和重(コントラバス奏者)

会 期:令和3年12月4日～令和4年3月13日(百日間)

公演時間:各回60分

定 員:一人、もしくは生活を共にする一組

主な演奏曲:

記憶の薫

イベリア半島

プッチャダス

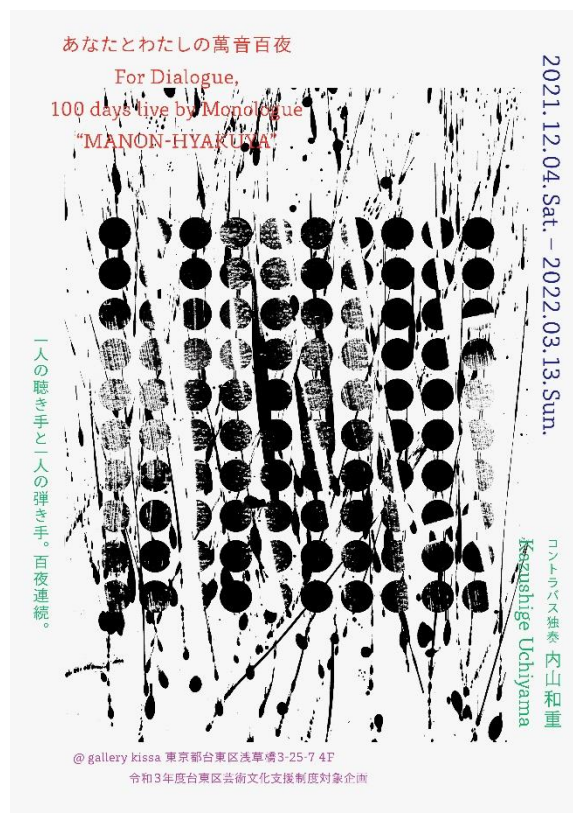
チェロ組曲一番よりプレリユード

満ちゆく月

タンゴエチュード3番、4番

駱駝の唄

一人の弾き手が、
一人の聴き手のため演奏を行う
百夜連続の贅沢な演奏会



© gallery kissa 東京都台東区浅草橋3-25-7 4F
令和3年度台東区芸術文化支援制度対象企画

●演奏会の様子●

コロナ禍を逆手に取り、お客様が一人、もしくは生活を共にする一組のみという中で開催される本演奏会は、緊張感のあるものかと思われましたが、一対一の空間ならではのお客様と演奏者の距離感の近さを感じさせるあたたかな挨拶と会話から始まりました。

「聴き手」と「弾き手」のソーシャルディスタンスの間は、さりげなく置かれた蝋燭の灯りがあたたかく埋められ、素敵な雰囲気にもまれていました。



演奏が始まるとコントラバスの低く、深い音色が一人の聴き手を包み込み、その響きは、あたたかく、そして優しく聴き手に届き、その心をほぐしているかのようなようでした。



大きなコントラバスを抱えて、全身を使いながら演奏する弾き手の姿は迫真で、その弾き手の迫力、コントラバスの深い音色と音の振動が間近で感じられ、まさに、この演奏会でしか味わえないような贅沢な時間でした。

コントラバスのより深い音色と一対一の生の空間を通じて、まさに「聴き手」と「弾き手」が対話しているかのような60分間に感じました。

コントラバスというソロで聴く機会があまりない楽器による独奏は非日常の稀有な体験でありながら、低音という誰にとっても安心感のある響きはとても心地よく、一対一という空間の中で、コロナ禍で疲れた聴き手の心を癒していました。